

平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月11日

上場会社名 サイボー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3123

URL <http://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 藤井 孝男 (TEL) 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	2,188	△2.3	419	△8.2	352	△32.2	166	△23.7
22年3月期第1四半期	2,240	△11.1	457	15.8	519	8.6	218	5.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	12.24	12.23
22年3月期第1四半期	16.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	27,128	13,319	42.0	836.03
22年3月期	27,623	13,325	41.3	836.67

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 11,403百万円 22年3月期 11,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,288	△0.2	741	△9.6	754	△16.9	324	△28.0	23.75
通期	8,855	2.0	1,445	△11.0	1,426	△17.9	658	21.9	48.24

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	14,000,000株	22年3月期	14,000,000株
23年3月期1Q	359,337株	22年3月期	359,337株
23年3月期1Q	13,640,663株	22年3月期1Q	13,640,713株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新興国の順調な経済成長による輸出の増加や生産の持ち直し等により企業収益に緩やかな回復がみられるものの、設備投資や個人消費は引き続き低調に推移しており、失業率は高止まりの傾向が続いております。また欧州の信用不安や米国の経済回復の遅れから円高・株安基調が続き、今後の景気動向は依然として先行き不透明な状況となりました。そのような中で、当社グループにおける事業環境は一部に円高の恩恵があるものの売上が伸びずに引き続き厳しい状況になりました。

① 繊維事業

原糸販売は、日本合繊メーカーの糸生産の停止および一般資材織物の市況回復により、輸入ポリエステル糸およびレーヨンフィラメント糸の販売が好調に推移し大幅な増収となりました。また高級品である麻織物は消費者の高額ブランド品離れの影響を受けながらも僅かに増収となりました。アパレル関係は百貨店への売上がやや回復の兆しが見えたものの、スポーツ関連商品、法人ユニフォームやSP商品は前年どおりに受注できず大幅な減収となりました。カジュアル縫製品関係は、自社企画商品「ユミカツラ（桂由美）」ブランドを小売業へ直接販売していく路線の効果が一部現れたものの、OEMその他の販売不振により減収となりました。刺繍レースを扱う栃木サイボー(株)は、販売強化して大幅な増収となりました。寝装品はギフト市場の繊維品離れの影響を挽回できずに僅かな減収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は8億78百万円(前年同期比3.8%増)となり、営業損失は26百万円改善して3百万円となりました。

② 商業施設賃貸事業

二つの大型商業施設の内、「イオンモール川口キャラ」は近隣大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるというお客様の利便性が高く評価され、一方の「イオンモール川口グリーンシティ」は施設更新工事に注力して、安定した収益基盤を維持できました。

この結果、商業施設賃貸事業の売上高は6億54百万円、営業利益は3億47百万円となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)の「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、若年プロゴルファーの活躍など若年層の入場者は増加傾向にあるものの、全体の入場者、売上高ともに前年に比べて僅かな減少となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は2億78百万円、営業利益は60百万円となりました。

④ その他

その他においては、主に自動車教習所事業は、業界全体が少子化・免許離れによる入校生減少に加え、長引くデフレにより二輪車の入校生が減少して減収となりました。

この結果、その他の売上高は3億77百万円、営業利益は19百万円となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は、21億88百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益は4億19百万円(前年同期比8.2%減)、経常利益は3億52百万円(前年同期比32.2%減)、四半期純利益は、社宅建て替えに関わる固定資産除却損49百万円を計上して、1億66百万円(前年同期比23.7%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少、有形固定資産の減価償却が進んだことによる減少等により前連結会計年度末に比べ4億95百万円減少して271億28百万円となりました。

負債は、未払法人税等の納付による減少や借入金の返済による減少等により前連結会計年度末に比べ4億89百万円減少して138億9百万円となりました。純資産は、四半期純利益の計上による増加があったものの、期末配当の支払いにより、前連結会計年度末に比べ6百万円減少して133億19百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月18日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産につきましては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響額は軽微であります。

② 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、損益に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,558,021	3,687,153
受取手形及び売掛金	848,090	958,800
有価証券	29,999	88,949
商品及び製品	457,272	423,289
仕掛品	24,139	30,444
原材料及び貯蔵品	33,583	32,338
その他	413,356	495,199
貸倒引当金	△12,525	△11,498
流動資産合計	5,351,939	5,704,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,838,809	11,934,670
土地	5,240,660	5,240,660
その他(純額)	134,081	133,261
有形固定資産合計	17,213,550	17,308,591
無形固定資産	229,197	244,715
投資その他の資産		
投資有価証券	3,869,234	3,968,026
その他	472,296	405,564
貸倒引当金	△7,768	△7,645
投資その他の資産合計	4,333,762	4,365,945
固定資産合計	21,776,510	21,919,253
資産合計	27,128,449	27,623,929

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	420,945	453,273
短期借入金	50,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	210,000	210,000
未払法人税等	89,391	418,950
賞与引当金	33,987	87,793
役員賞与引当金	1,550	38,070
その他	1,081,440	954,141
流動負債合計	1,887,314	2,312,229
固定負債		
長期借入金	1,382,500	1,435,000
退職給付引当金	292,893	298,709
役員退職慰労引当金	166,010	163,122
長期預り保証金	9,411,725	9,392,313
その他	668,712	697,094
固定負債合計	11,921,842	11,986,239
負債合計	13,809,157	14,298,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	868,685	868,685
利益剰余金	9,340,873	9,266,984
自己株式	△252,018	△252,018
株主資本合計	11,359,540	11,285,651
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	95,970	167,109
繰延ヘッジ損益	△51,544	△39,963
評価・換算差額等合計	44,426	127,146
新株予約権	21,224	20,581
少数株主持分	1,894,100	1,892,081
純資産合計	13,319,291	13,325,461
負債純資産合計	27,128,449	27,623,929

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,240,310	2,188,136
売上原価	1,396,882	1,407,490
売上総利益	843,427	780,645
販売費及び一般管理費	386,075	360,950
営業利益	457,352	419,695
営業外収益		
受取利息	3,715	5,280
受取配当金	20,600	32,687
持分法による投資利益	—	444
有価証券運用益	79,505	—
その他	2,797	6,026
営業外収益合計	106,618	44,438
営業外費用		
支払利息	32,367	31,539
持分法による投資損失	2,576	—
有価証券売却損	—	22,616
有価証券運用損	—	48,960
その他	9,587	8,776
営業外費用合計	44,530	111,893
経常利益	519,440	352,240
特別利益		
投資有価証券売却益	2,716	8
貸倒引当金戻入額	108	—
特別利益合計	2,825	8
特別損失		
固定資産除却損	37,829	49,355
投資有価証券売却損	1,839	—
特別損失合計	39,669	49,355
税金等調整前四半期純利益	482,596	302,893
法人税、住民税及び事業税	137,175	93,396
法人税等調整額	67,013	32,167
法人税等合計	204,189	125,564
少数株主損益調整前四半期純利益	—	177,329
少数株主利益	59,536	10,407
四半期純利益	218,871	166,921

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	482,596	302,893
減価償却費	220,754	210,055
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△108	1,150
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30,142	△53,806
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29,692	△36,520
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,647	△5,816
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△7,297	2,888
受取利息及び受取配当金	△24,316	△37,967
支払利息	32,367	31,539
持分法による投資損益 (△は益)	2,576	△444
有価証券運用損益 (△は益)	△79,505	48,960
投資有価証券売却損益 (△は益)	△877	△8
売上債権の増減額 (△は増加)	285,952	110,710
たな卸資産の増減額 (△は増加)	22,557	△28,922
仕入債務の増減額 (△は減少)	△32,199	△32,328
その他	305,462	216,928
小計	1,146,481	729,313
利息及び配当金の受取額	26,987	42,274
利息の支払額	△32,194	△31,367
法人税等の支払額	△161,665	△416,810
営業活動によるキャッシュ・フロー	979,609	323,409
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	40,000	36,333
有形固定資産の取得による支出	△172,369	△116,355
投資有価証券の取得による支出	△160,614	△101,414
投資有価証券の売却による収入	41,760	28,884
定期預金の増減額 (△は増加)	59,231	59,328
貸付けによる支出	—	△19,500
貸付金の回収による収入	—	19,500
長期貸付金の回収による収入	3,000	—
その他	△35,715	△32,752
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224,707	△125,976

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	250,000	50,000
短期借入金の返済による支出	△250,000	△150,000
長期借入金の返済による支出	△52,500	△52,500
配当金の支払額	△93,033	△93,032
少数株主への配当金の支払額	△6,184	△6,184
その他	△14,860	△15,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,577	△267,236
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	588,324	△69,803
現金及び現金同等物の期首残高	2,452,392	3,216,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,040,716	3,146,837

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	846,133	1,179,966	214,209	2,240,310	—	2,240,310
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,945	169,613	173,558	(173,558)	—
計	846,133	1,183,912	383,822	2,413,868	(173,558)	2,240,310
営業利益又は営業損失(△)	△30,120	487,545	25,665	483,090	(25,738)	457,352

(注) 1 事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な製品又は事業内容

事業区分	主要製品又は事業内容
繊維事業	レーヨン糸、合繊糸、麻生地、ニット製品、刺繍レース、ユニフォーム、寝装寝具品、衣料品、販促商品の販売
不動産活用事業	商業施設賃貸業、ゴルフ練習場・自動車教習所の運営、ビルメンテナンス
その他の事業	自動車の板金塗装修理、ギフト商品の販売、インテリア施工、自動給水植木鉢の販売及びレンタル業

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

当社及び連結子会社は本邦に所在するため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、セグメント情報においては、「繊維事業」「商業施設賃貸事業」「ゴルフ練習場事業」を報告セグメントとしております。

「繊維事業」は、繊維品の製造販売を行っており、「商業施設賃貸事業」は、商業施設の賃貸を行っており、「ゴルフ練習場事業」は、ゴルフ練習場の運営を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	878,248	654,673	278,094	1,811,017	377,119	2,188,136	—	2,188,136
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,400	64,291	—	65,691	35,402	101,093	(101,093)	—
計	879,648	718,965	278,094	1,876,708	412,521	2,289,229	(101,093)	2,188,136
セグメント利益 又は損失(△)	△ 3,726	347,084	60,343	403,700	19,153	422,854	(3,158)	419,695

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。